

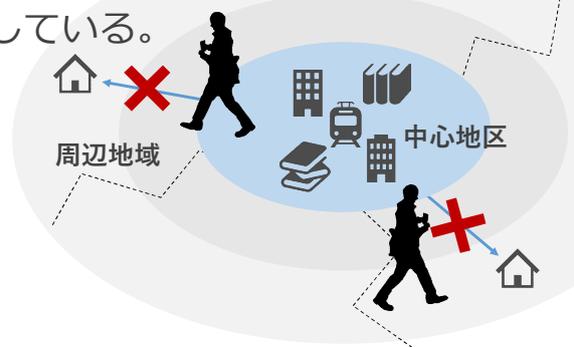
9

人間拡張によるブックマイスターサービス ～賢者のまち、つくば～

宇陀則彦 加藤 誠 上保秀夫（筑波大学）

提案の背景

つくば市周辺部に図書館はないので、自動車図書館が巡回している。
しかし、本だけ届けられても本の魅力は伝わらない！
図書館と同じように、本の魅力を伝える人がほしい。
でも、本はたくさん運べても、図書館員は何人も運べない。
そうだ。本に詳しい人を現地調達しよう！
とはいうものの、市民が図書館員になれるのだろうか？

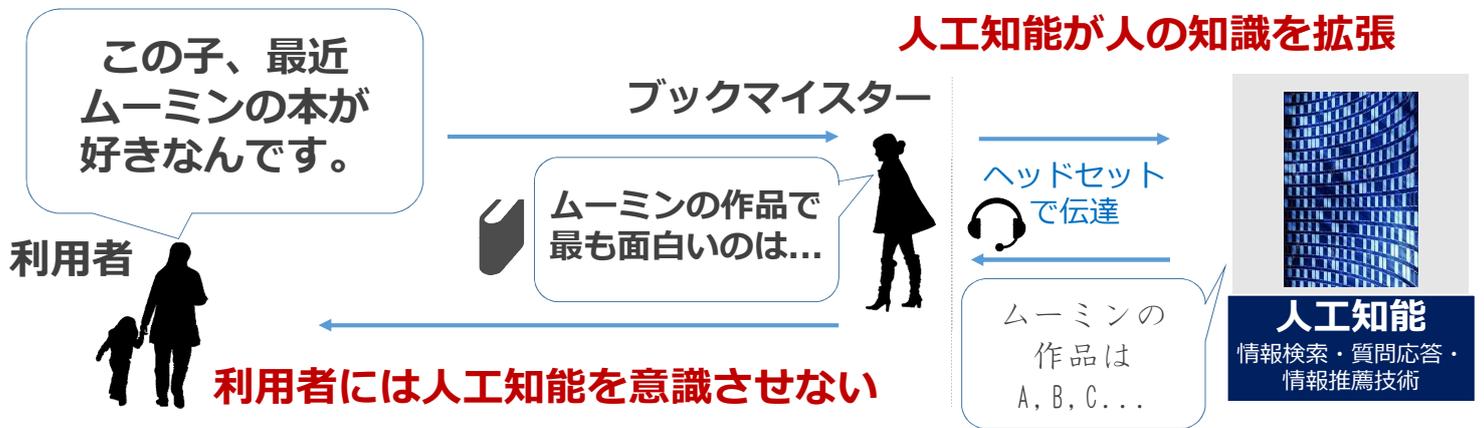


トライアル概要

人と人工知能の協働/市民による公共サービス

知識を拡張された市民が本の語り部「ブックマイスター」となる。

- ①利用者の要望からキーワードを伝達 ②本のデータから推薦



ブックマイスターとは本の知識を魅力的に伝えるスペシャリストのこと
人工知能が本の知識を耳元で囁き、それをもとに人が本の魅力を語る。

期待される効果・実現する未来社会

1. 本を通じて知識がまち全体に行き渡る社会
2. 人工知能技術が社会に自然に溶け込んでいる社会
3. 市民と行政が協働で公共サービスを実施する社会



図書館、病院、ショッピングセンターとサービス拠点を順次拡大

令和元年度つくば市Society 5.0社会実装トライアル事業